

# コース 梅里の寺町周辺

(約 3km 丸ノ内線新高円寺駅～南阿佐ヶ谷駅)

関東大震災以前の大正期、都心部の区画整理などにより区内へ移転した寺院が形成する梅里の「寺町」と著名人の墓をめぐる

約5,000歩

## ① 西方寺 (3311)6704 梅里 1-4-56

六面幢には六地藏が彫られるのが一般的ですが、境内には観音像が彫られた石造観音六面幢があります。中央線の拡幅等のため四谷（新宿区）から移転した浄土宗寺院です。

## ② 清徳寺 (3311)5438 梅里 1-4-23

朱塗りの山門があったことから「赤門寺」とも呼ばれました。麻布（港区）から移転した日蓮宗寺院です。

## ③ 智光院 (3313)3754 松ノ木 3-33-30

文化文政期に江戸北町奉行を務めた永田正道の墓があります。浅草（台東区）から移転した臨済宗（妙心寺派）寺院です。

## ④ 慶安寺 (3311)0407 梅里 1-4-24

下谷（台東区）から移転した曹洞宗寺院。移転前は、上野の山の紅葉が不忍池に映る絶景を眺めることができる場所にあったことから、紅葉寺とも称されました。杉田玄白とともに『解体新書』を訳した前野良澤の墓があります。かつては遺品類も伝わっていましたが、戦災で焼失しました。

## ⑤ 心月院 (3311)3541 梅里 1-4-27

丹波綾部藩主である九鬼家の菩提寺で、浅草（台東区）から移転した曹洞宗寺院です。

## ⑥ 大法寺 (3313)6812 松ノ木 3-33-19

江戸後期、為永春水に次ぐ人情本作者であった松亭金水の墓があります。牛込（新宿区）から移転した日蓮宗寺院です。

## ⑦ 華徳院 (3311)7590 松ノ木 3-32-11

善養寺（豊島区）、太宗寺（新宿区）とともに「江戸三閻魔」の一つとして有名でした。浅草（台東区）から移転した天台宗寺院です。

## ⑧ 清見寺 (3311)2906 梅里 2-11-17

江戸初期開創の曹洞宗寺院。明治8（1875）年から明治17（1884）年に、杉並第一小学校の前身である桃園学校第一分校が置かれました。

## ⑨ 海雲寺 (3311)1584 成田東 4-18-9

梅里の「寺町」からは外れますが、江戸城内の紅葉山から移築したという山門があります。浅草から移転した曹洞宗寺院です。

## ⑩ 天桂寺 (3311)0847 成田東 4-17-14

江戸初期に、現在地へ開創された曹洞宗寺院。成宗・田端村の領主であった旗本の岡部氏一族の墓があります。区名の「杉並」は、岡部氏が領地の境界を示すために植えた杉並木に由来するものです。境内にある寛文四（1664）年銘聖観音庚申供養塔は、「庚申観音」と呼ばれる珍しい石仏です。台座には「見ざる・聞かざる・言はざる」の三猿が彫られています。

